歴　史　総　合

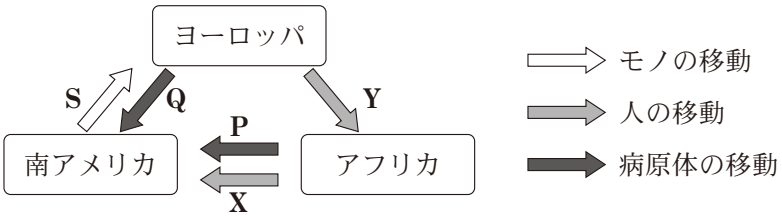
（解答番号 101 ～ 116 ）

第１問　歴史総合の授業で，現代的な諸課題の一つとして災害の歴史に着目し，まとめの活動を行った。次の文章**A**・**B**を読み，後の問い（**問１**～**７**）に答えよ。（資料には，省略したり，改めたりしたところがある。）（配点　25）

A　各班で，災害に関して，その要因や開発との関係について考察を行った。

問１　１班は，災害としての疫病，とりわけマラリアに関心を持った。まず，19世紀までのマラリア流行に関して調べ，**パネル１**を作成した。**パネル１**に関して述べた文**あ**～**え**について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 101

パネル１　マラリアをめぐるモノ・人・病原体の移動



・**S**は，17世紀前半に，ヨーロッパ人がアンデス地方原産の薬用植物であるキナノキを持ち帰ったことを表す。
・**X**は，大西洋三角貿易の一部であり，労働力として移動させられた人々を表す。
・**Y**は，キナノキを原料としたマラリア治療薬を有効に活用しながら，アフリカ分割を推し進めたヨーロッパ人の移動を表す。
・**P**と**Q**は，人の移動に伴って，それぞれ異なるタイプのマラリア病原体が南アメリカへ持ち込まれたことを表す。

あ　**Y** は，**X** の開始より前に起こったと考えられる。

い　**S** は，**Y** より前に起こったと考えられる。

う　**P** は，アフリカ人が奴隷として送られたことに伴って起こったと考えられる。

え　**Q** は，コロンブスの西インド諸島到達より前に起こったと考えられる。

① あ・う　② あ・え　③ い・う　④ い・え

問 2　1 班は，続いて，**表 1** を作成し，各国が行った 19 世紀末以降のマラリア研究について考察した。**表 1** 中の空欄［ア］に入る語句と，［イ］に入る文との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［102］

表 1　各国のマラリア研究に関する動向

国　名	時　期	研究対象とした地域
イギリス	19 世紀末～20 世紀初め	アフリカやインド
日　本	19 世紀末～20 世紀前半	下関条約で獲得した［ア］
アメリカ合衆国	20 世紀初め	パナマ運河開削時のラテンアメリカ
【まとめ】　各国のマラリア撲滅を目指した研究は，いずれも［イ］ために利用されたと考えられる。		

① **ア** ― 朝　鮮　**イ** ― 自らの勢力圏や植民地を維持・拡大する

② **ア** ― 朝　鮮　**イ** ― 第三世界の台頭に対抗する

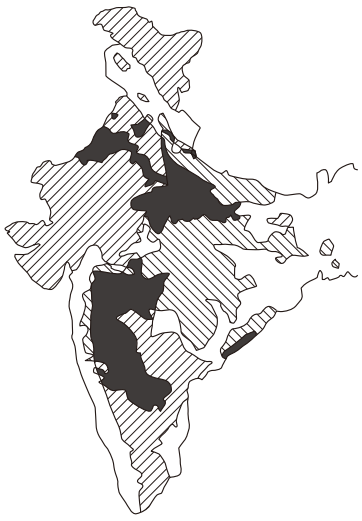
③ **ア** ― 台　湾　**イ** ― 自らの勢力圏や植民地を維持・拡大する

④ **ア** ― 台　湾　**イ** ― 第三世界の台頭に対抗する

問 3　2 班は，災害の中でも飢饉（ききん）に着目して，インドとエチオピアの事例について考察し，その内容をそれぞれ**パネル 2 ・ 3** にまとめた。このことについて，後の(1)及び(2)の問いに答えよ。

パネル 2　1896 年～1897 年にインドで飢饉が発生・拡大した要因

・大規模な干ばつが発生した。
・不作にもかかわらず，穀物の輸出が継続され，食糧価格が高騰した。
・困窮した農民層に多くの餓死者が出た。



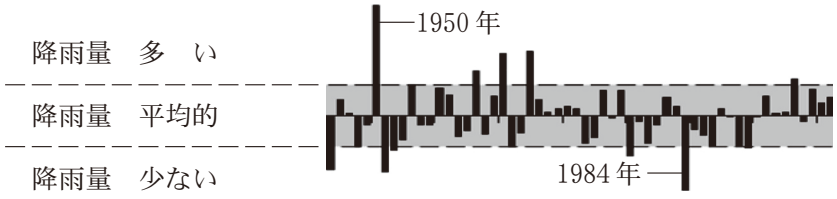
飢饉が発生した地域
年間降雨量が 1,000 mm 以下の地域
※ 20 世紀半ば以降の数値を参考としている。
上記二つが重なる地域

（脇村孝平『飢饉・疫病・植民地統治』より作成）

パネル 3　1984 年～1985 年にエチオピアで飢饉が発生・拡大した要因

・エチオピアは，1970 年代から隣国との戦争や国内政治の混乱を抱えており，1991 年まで不安定な情勢が続いた。その影響で，1984 年から 1985 年にかけての飢饉の際に，特に北東地域で被害が拡大した。

【エチオピア北東地域における降雨量の指数(1945 年～2000 年)】



(注)　灰色の部分は平均的な降雨量を示し，棒が灰色の部分より上だと雨が例年よりも多かった年，下だと少なかった年を意味する。

⑴ **パネル 2 ・ 3** でそれぞれ扱った飢饉の時期に起こった出来事について述べた文**あ・い**の正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 103

あ **パネル 2** で扱った飢饉の時期に，非暴力・不服従運動が展開した。

い **パネル 3** で扱った飢饉の時期に，イタリアによるエチオピア侵略が始まった。

① **あ** ― 正　**い** ― 正　② **あ** ― 正　**い** ― 誤

③ **あ** ― 誤　**い** ― 正　④ **あ** ― 誤　**い** ― 誤

⑵ 2 班は，**パネル 2 ・ 3** を比較した結果を，**メモ**にまとめた。**メモ 1 ・ 2** の正誤について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 104

メモ 1

パネル 2 で扱った飢饉は，年間降雨量 1,000 mm 以下の地域かどうかに関わりなく起こった。**パネル 3** で扱った飢饉は，1945 年から 2000 年の期間の中で最も降雨量が多かった時期に発生した。

メモ 2

パネル 2 ・ 3 の事例のいずれも，飢饉の深刻化には，経済または政治の状況が影響した。

① **メモ 1** のみ正しい。

② **メモ 2** のみ正しい。

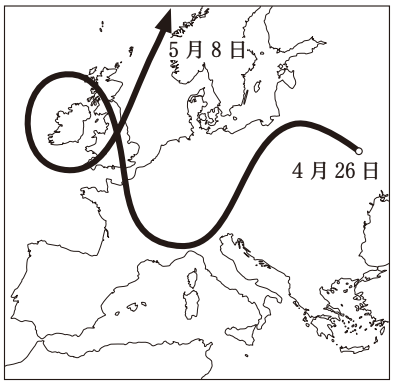
③ 二つとも正しい。

④ 二つとも誤っている。

問 4　3班は，災害と環境汚染との関係に関心を持ち，20世紀後半のヨーロッパの事例について調べて，**レポート1**を作成した。**レポート1**中の空欄［ ウ ］に入る語句と，［ エ ］に入る文との組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 105 ］

レポート1

地　図



・**地図**中の矢印は，1986年4月26日に起こったチョルノービリ(チェルノブイリ)原子力発電所事故に由来した放射性雲の一部が，5月8日までに移動した経路を表す。

・当時，この原子力発電所があったウクライナは，［ ウ ］の構成国であった。

・**地図**を見ると，この事故による環境汚染は，［ エ ］ことが分かる。

① **ウ** ― 独立国家共同体(CIS)
　エ ― 特定の政治体制の地域においてのみ見られた

② **ウ** ― 独立国家共同体(CIS)
　エ ― 政治体制の違いにかかわらず，広い地域において見られた

③ **ウ** ― ソ　連
　エ ― 特定の政治体制の地域においてのみ見られた

④ **ウ** ― ソ　連
　エ ― 政治体制の違いにかかわらず，広い地域において見られた

B　次の授業で，各班では，災害への対応や，災害後の社会について，発展的に考えてみることにした。

問 5　1班は，近代日本の水害と森林保全について調べ，**レポート2**を作成した。**レポート2**から読み取れる事柄や，その背景に関して述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 106

レポート2

日本では江戸時代以来，森林の伐採が進み，各地ではげ山が見られた。その結果，明治時代には大規模な洪水が各地で相次いだ。これに対して政府は，オランダ人技師のデ＝レーケをはじめとするお雇い外国人の意見を聞きながら，森林や河川の保全に取り組んだ。

製糸業などの発展に伴って，燃料用の木材の生産量が増加したが，産業革命の過程で主要なエネルギー源が変化したことにより，1900年頃から燃料用の木材の生産量は減少した。これによって，森林資源の減少に一定の歯止めがかけられた。

① 森林資源の減少に一定の歯止めがかかったのは，主要なエネルギー源が木材から石炭へと転換したためと考えられる。

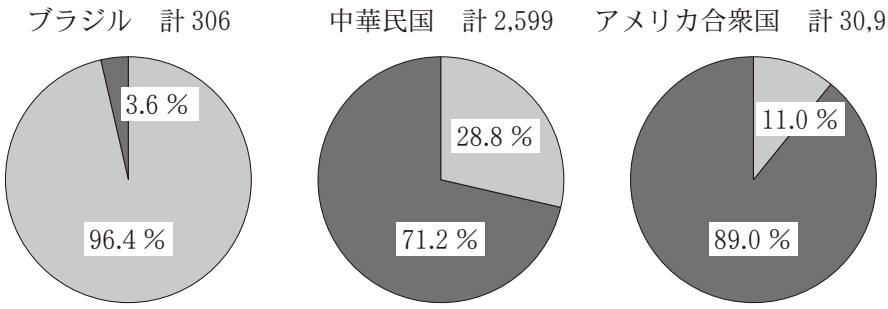
② 気候変動に対する国際的な関心の高まりを背景に，デ＝レーケのような技師が外国から招かれ，森林や河川の保全を進めた。

③ 明治政府が近代産業の育成を進める中で，生糸の生産が拡大し，そのほとんどが国内で消費された。

④ 日本における森林破壊は，明治維新の後に始まり，森林や河川の保全の必要性を政府に認識させたと考えられる。

問 6　2 班は，災害からの復興に関心を持ち，諸外国からの関東大震災への復興支援に関する資料を基に**グラフ**を作成した。**グラフ**から読み取れる事柄**あ**～**う**と，**グラフ**に示されたいずれかの国の当時の状況**X**・**Y**とについて，最も適当なものの組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 107

グラフ　各国からの支援額とその内訳(1923 年～1930 年)　(単位：1,000 円)



(東京市役所文書課『亜米利加合衆国震災義捐金及義捐品調査』より作成)

グラフから読み取れる事柄

あ　ブラジルからの支援額における「本国人など」の割合は，アメリカ合衆国からの支援額における「在留邦人」の割合と比べ，高い。

い　中華民国では，「在留邦人」の支援額が，「本国人など」を上回っていた。

う　アメリカ合衆国からの支援額は，3 か国の中で最も多額であった。

当時の状況

X　日本からの移民が禁止されるなど，排日的な動きがあった。

Y　関東大震災後に，五・四運動が発生した。

① **あ** — **X**　② **あ** — **Y**　③ **い** — **X**
④ **い** — **Y**　⑤ **う** — **X**　⑥ **う** — **Y**

問 7　3 班は，被災地で歴史資料の保全活動を行う民間団体（史料ネット）があることを知り，民間団体と政府の動きを**表 2** にまとめた。**表 2** 中の空欄［ **オ** ］・［ **カ** ］に入る語句の組合せ**あ**・**い**と，**表 2** から読み取れる事柄**X**・**Y**とについて，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 108 ］

表 2

1995 年	［ **オ** ］発生。その被災地で史料ネットが結成され，国などから指定を受けていない文化財を含む歴史資料を保全。
2003 年	宮城県北部地震発生。宮城県で史料ネット結成。
2004 年	内閣府等の検討委員会が，**まとめ**で文化財の保全に言及。 新潟県中越地震発生。新潟県で史料ネット結成。
2005 年	岡山県で史料ネット結成。
2010 年	福島県で史料ネット結成。
2011 年	［ **カ** ］発生。その被災地で史料ネット結成。
2012 年	徳島県で史料ネット結成。

「災害から文化遺産と地域をまもる検討委員会」まとめの内容（一部）

保全対象の文化遺産は，世界遺産，国宝，重要文化財等の指定されたものだけでなく，未指定の文化遺産も含め地域の核となるようなものとする。

［ オ ］・［ カ ］に入る語句の組合せ

あ　**オ** ― 阪神・淡路大震災　　**カ** ― 東日本大震災
い　**オ** ― 東日本大震災　　**カ** ― 阪神・淡路大震災

表 2 から読み取れる事柄

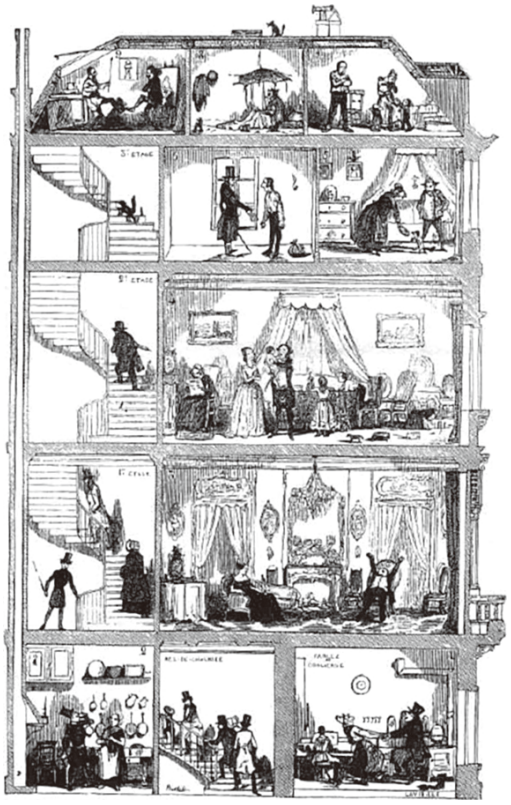
X　史料ネットはいずれも，大きな震災で被害が発生した年に結成された。
Y　民間団体と政府のそれぞれで，指定の有無にかかわらず，地域の文化財を保全する動きが見られた。

①　**あ** ― **X**　　②　**あ** ― **Y**　　③　**い** ― **X**　　④　**い** ― **Y**

第 2 問　歴史総合の授業で，「近現代における都市の変容」という主題について班別学習をした。次の文章**A**・**B**を読み，後の問い(**問 1 ～ 8**)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点　25)

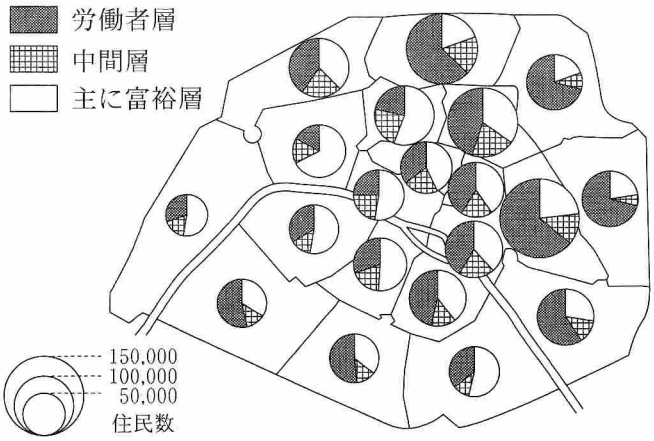
A　本田さんとマルタンさんの班は，近現代における大都市の変容について考察するために，パリと東京に着目した。最初に，フランスの第二帝政下で行われたパリの都市改造について調べ，**図 1 ・ 2** を基に，**ノート 1** にまとめた。

図 1　パリの集合住宅(19 世紀前半)



(E. Texier, *Tableau de Paris*)

図２　パリにおける地区ごとの社会階層分布（1872 年）



（F. Braudel / E. Labrousse (dir.), *Histoire économique et sociale de la France*, Tome Ⅲより作成）

ノート１　パリにおける社会階層による住み分け

・図１は，19 世紀前半のパリの典型的な集合住宅の姿である。２階や３階は間取りが広く調度品も豪華だが，４階や５階は狭く，調度品も少ない。
・19 世紀半ば以降，フランス皇帝の主導の下に，積極的な対外政策とともに，パリの大規模な都市改造が行われた。この改造の結果，図１の居住のあり方は次第に姿を消していった。図２は，1872 年の時点で，19 世紀前半とは異なる住み分けが存在することを示している。

問１　図１・２及びノート１から読み取れる事柄や，その背景について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 109

① パリでは，高度情報化社会が成立するなかで，富裕層と労働者層は，地域的な住み分けから，垂直的な住み分けに移行した。
② パリでは，高度情報化社会が成立するなかで，富裕層と労働者層は，垂直的な住み分けから，地域的な住み分けに移行した。
③ パリでは，工業化が進展するなかで，富裕層と労働者層は，地域的な住み分けから，垂直的な住み分けに移行した。
④ パリでは，工業化が進展するなかで，富裕層と労働者層は，垂直的な住み分けから，地域的な住み分けに移行した。

問 2 **ノート 1** 中のフランス皇帝が在位している間に起こった，フランスの対外関係上の出来事について述べた文**あ・い**の正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 110

あ フランスは，長州藩に対して，報復の砲撃を行った。
い フランスは，イギリス・ロシアと協定を結び，オスマン帝国領の分割を取り決めた。

① **あ** ― 正　**い** ― 正　　② **あ** ― 正　**い** ― 誤
③ **あ** ― 誤　**い** ― 正　　④ **あ** ― 誤　**い** ― 誤

問 3 本田さんは，次に，江戸・東京における都市構造の変化について，**パネル 1** にまとめた。その内容として**誤っているもの**を，**パネル 1** 中の下線部①～④のうちから一つ選べ。 111

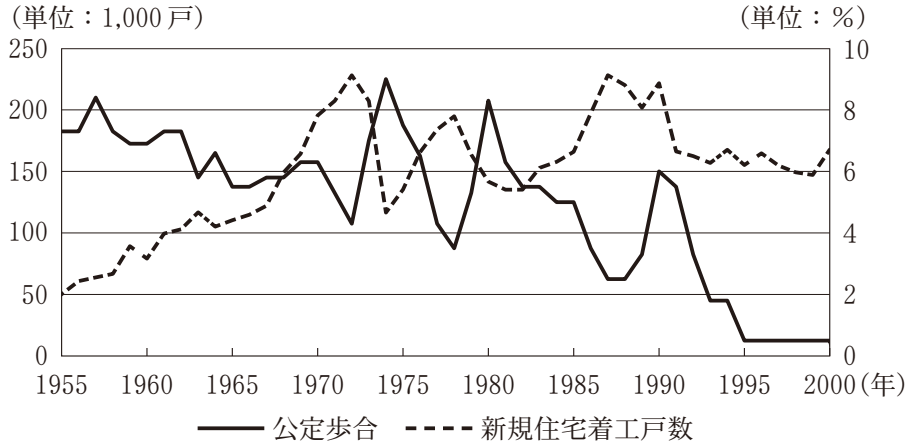
パネル 1

・江戸の状況：江戸では，居住区域が身分ごとに分けられ，人口は 18 世紀に 100 万人を超えていた。その日常生活を支えるために，①物資が南海路や東廻り航路(海運)により各地から江戸に運ばれていた。
・旧町人地での文明開化：江戸から東京に改称された②明治初期には，銀座に煉瓦(れんが)街が建設され，文明開化のシンボルとなったが，そうした動向は，旧町人地の中でもごく一部の地域に限られた。
・旧武家地での都市計画：③政府は欧米諸国との条約改正を実現するため，欧化政策の一環として鹿鳴館を建設した。また市区改正という都市計画事業で道路が整備され，旧武家地の都市化が進んだ。
・郊外の宅地化：旧町人地の大半では，木造家屋が建ち並ぶ伝統的な商業街や，私的な居住空間が維持されたが，④日露戦争までに，郊外に文化住宅が建てられ，和風・洋風両方の生活様式が取り入れられた。

考　察：パリと東京それぞれで近代化が進み，都市構造も変容した。

問 4 マルタンさんは，さらに東京都の住宅着工戸数と融資(ローン)との関係に興味を持ち，公定歩合(日本銀行が市中銀行に貸し出す際の金利)と新規住宅着工戸数に関する**グラフ 1** を作成した。**グラフ 1** から読み取れる事柄**あ・い**と，その背景**X・Y**とについて，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 112

グラフ 1　公定歩合と東京都の新規住宅着工戸数(1955 年～2000 年)



(『住宅着工統計』各年，日本銀行ウェブサイト公表データ一覧より作成)

グラフ 1 から読み取れる事柄

あ　1970 年代に，公定歩合と新規住宅着工戸数は，同じ向きに変化した。

い　1990 年代に，公定歩合は低下し，新規住宅着工戸数は伸びずに横ばいとなった。

背　景

X　地価や株価の急落により，平成不況と呼ばれる低成長期となった。

Y　「列島改造」を掲げた内閣が，公共投資を拡大した。

① **あ — X**　② **あ — Y**　③ **い — X**　④ **い — Y**

B　坂井さんの班は，植民地化されたアジアの都市をテーマにして話し合った。

坂　井：ⓐ東南アジア各地は，ヨーロッパ諸国によって植民地化されています。例えば，フランスは，19 世紀後半に，まずサイゴンを拠点にして，東南アジアの植民地化を進めていきます。

永　島：サイゴン近隣のメコンデルタは，米穀生産が盛んな地域ですね。植民地化以前から，この地域で生産された米穀は，華僑・華人によって東アジアや東南アジアの各地に向けて輸出されていました。

吉　村：1889 年のサイゴンにおける現地の人以外の人口構成を見ると，華僑・華人の方が，主に植民地官僚と商人であったフランス人よりも多く，華僑・華人の活動が継続していたことが読み取れます。植民地化されて，変わったところと，そうでないところがあるのですね。

先　生：考察が深まっていますね。植民地と一口に言っても，それぞれの地域の事情や，植民地化を進める宗主国の都合によって，状況は異なります。いくつか主要な都市を取り上げて，比較してみましょう。

問 5　下線部ⓐについて述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 113

① インドネシアでは，オランダから輸入される，特定の農産品への依存が進んだ。

② スペインは，マラッカを植民地の拠点とした。

③ ビルマ（ミャンマー）は，英領インドの一部として植民地化された。

④ カンボジアは，英仏植民地の緩衝地帯として，独立を保った。

問 6　吉村さんは，朝鮮半島の京城(現ソウル)が日本の統治によって変容した様子を調べ，**パネル 2** を作成した。**パネル 2** に関して述べた文**あ**～**え**について，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 114

パネル 2　1930 年代半ばの京城中心部



・1936 年の京城中心部の人口のうち，日本人の割合は，南部では 52 %，北部では 8.7 % であった。
・朝鮮人が多い居住地には朝鮮式の「洞」が，日本人が多く居住する地区には日本式の「町」の名称が使われた。
・朝鮮総督府の建物は，朝鮮の王宮であった景福宮内に新たに建てられた。
・1936 年の京城の人口は約 68 万人で，そのうち日本人は約 13 万人であった。

あ　清渓川の南側には，日本語の地名や日本の百貨店が見られる。
い　朝鮮総督府が移転したのは，日本人住民の割合が大きい地域だった。
う　**パネル 2** が示しているのは，三・一独立運動後の京城である。
え　**パネル 2** の時期に，日本の政府開発援助(ODA)により工業化が進んだ。

① **あ・う**　② **あ・え**　③ **い・う**　④ **い・え**

問 7 永島さんは，第二次世界大戦後の香港の経済発展を支えた背景として，1950年代に着目して**ノート 2** を作成した。**ノート 2** 中の空欄［ ア ］・［ イ ］に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

［ 115 ］

ノート 2

・香港はもともと中継貿易港として発展していた。イギリス本国からやってきた人は少なく，人口の大部分を占める現地の人のほとんどは，周辺から入ってきた中国人であった。1931 年の調査では，非中国人人口は 3 万人弱で，香港の人口全体の約 3 % に過ぎなかった。

・香港には内戦から逃れてきた人々がさらに流入し，人口は 60 万人(1945 年 8 月)から 250 万人(1955 年)へ急増した。

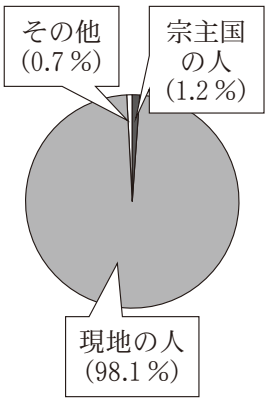
・中国の人民義勇軍が［ ア ］に介入すると，アメリカ合衆国はイギリスに，中国との貿易を停止するよう要求した。この結果，香港と中国との貿易は途絶えたため，香港では，繊維製品やプラスチック製品などを生産する，労働集約型製造業が発展した。

考　察：戦後香港の経済発展の背景には，［ イ ］があった。

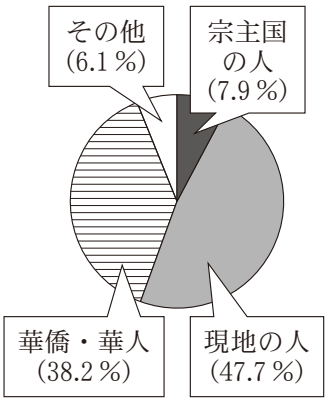
① **ア** ― 朝鮮戦争　　**イ** ― 重工業への優先投資
② **ア** ― 朝鮮戦争　　**イ** ― 周辺からの労働力の流入
③ **ア** ― ベトナム戦争　**イ** ― 重工業への優先投資
④ **ア** ― ベトナム戦争　**イ** ― 周辺からの労働力の流入

問 8　班活動のまとめとして，これまで取り上げた植民地の都市(1880 年代のサイゴン，1930 年代の京城，1950 年代の香港)について，当時の住民構成が分かる**グラフ 2 ～ 4** を用意し，**メモ**を作成した。**メモ 1 ・ 2** の正誤について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 116

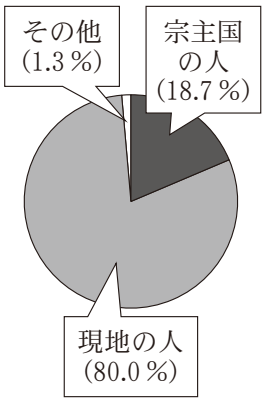
グラフ 2



グラフ 3



グラフ 4



(注)　「現地の人」は，もともとの住民と周辺から流入した人とを合わせたもの。また，四捨五入のため，合計は必ずしも 100 % にならない。
(*Hong Kong Statistics 1947–1967* などより作成)

メモ 1

グラフ 4 は，1950 年代の香港の住民構成を示していると考えられる。**ノート 2** の内容から，1950 年代の香港で現地の人が占める割合は，1931 年よりも減少しているためである。

メモ 2

グラフ 3 は，1880 年代のサイゴンの住民構成を示していると考えられる。**グラフ 3** は，**グラフ 2 ・ 4** と異なり，その人口の約 4 割を華僑・華人が占めているためである。

① **メモ 1** のみ正しい。　② **メモ 2** のみ正しい。
③ 二つとも正しい。　④ 二つとも誤っている。